## 試験日時の調整について

* 試験実施機関は「受検申請書」を受領した後、申請者である監理団体の受検申請者（実習実施者も含まれる場合があります）及び試験評価者側の調整窓口担当者に対して、『介護技能実習評価試験日程調整依頼書』（以下、「依頼書」という。）をメールで送付します。依頼書には、受検申請者又は調整窓口担当者（試験評価者を兼務している場合も有）の連絡先が記載されています。
* 受検申請者である監理団体及び実習実施者は、どちらが試験日時の調整を行う担当者となるのか決め、試験評価者側の調整窓口担当者に試験日時の調整について連絡して下さい。なお、試験評価者は専ら評価業務のみを行っているわけではありませんので、希望日時の選択肢が少ないと調整できない場合があります。このため、できる限り、受検者（技能実習生）のシフトを確定する前に調整を図り、試験日時について柔軟に設定できるようご配慮をお願いします。
* 受検の流れについては、試験実施機関のホームページを確認してください。<http://www.espa.or.jp/internship/application/>
* 専門級試験の受検者が複数いる場合、試験時間の設定は２通りの方法が考えられます。事前に実習実施者の状況を理解し、利用者の生活時間を把握した上で、調整窓口担当者と調整してください。

|  |  |
| --- | --- |
| ①受検者ごとに設定 | ②試験課題ごとに設定（試験当日、柔軟に対応） |
| ※初級試験と同様※試験が早く終了した場合は、次の受検者を繰り上げることも可 | 13:00から「食事の介護」をA→B→Cと実施し、その後、他の試験課題を実施（試験当日、試験評価者と相談の上、進めていく） |
| **例）開始時間** |  | 例）開始時間 |  |
| **13:00** | 受検者A | 13:00 | 受検者A |
| **14:10** | 受検者B | 受検者B |
| **15:20** | 受検者C | 受検者C |

* ①②ともに、各試験課題の実施順は当日改めて確認し、状況により変更することも可能です。

参考　【試験日時を調整する際の確認内容】

* 受検予定月　　　　　　　　　月
* 受検者数　　 　　　　　　　　 名
* 学科試験の受検有無　　　　有　・　無
* 複数名いる場合の時間の設定方法　　　　受検者ごと　・　試験課題ごと（柔軟に対応）
* 当日のスケジュール

|  |  |
| --- | --- |
| 試験日 |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 内容 | 受検者名 | 備考（会場等） |
|  | 試験評価者到着打ち合わせ（30~60分） |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  | 試験評価者退出（予定時間） |  |  |

* 試験評価者の旅費交通費　超過の可能性　　　有 （約　　　　　　　　　円）　・　無
* 実習実施者側の準備
	+ 立ち会い者は決まっているか
	+ 学科試験会場、試験評価者の打ち合わせスペースは準備されているか
	+ 当日までに準備する書類等を把握しているか（受検者の在留カード、利用者票、記録）
* その他